

2021. 11. 21



† 聖日礼拝 前11時

— 感謝日・謝恩日 —

(司会) 酒井 勲兄

招 奏 楽 詩編42編5節 鈴木まり子姉

讚美歌 一一 (1、2節のみ)

主の祈り 九三 (5A)

交読詩編 六五

信仰告白 九三 (4の1A)

讚美歌 二四

祈 禱 マルコによる福音書8章1節〜10節

聖 書 二二四

讚美歌 「イエスの感謝」

説 教 佐藤栄一 牧師

祈 禱 三八六

讚美歌 二七

献 金

讚美歌

祝 禱

報 告

§ 今週の集会

日曜学校 21日 前9時

維持委員会(4) 21日 後1時(ホール1〜3)

教師招聘委員会(2) 21日 後1時(多目的室)

受洗準備会(2) 21日 後4時(ホール1〜3)

クリスマスの飾りつけ 23火 前10時

埋葬式 23火 前11時

記念会 23火 後4時(当教会)

祈 禱 会 24水 前11時(加山牧師)

埋葬式・改葬式 25木 前11時(教会墓所)

\* 今週の会堂掃除

今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

∧ 礼拝当番 ∨ (オンラインでは割愛)

※ 分散礼拝について

11月の役員会で、21日～12月12日までの4週間は「レベル3」＝2区分の礼拝とすることが決まりました。本日(21日)の「分散礼拝」は(会員名簿の)「六角橋」・「緑区・青葉区・都筑区」・「市内」・「県内」「東京」の方々です。

\* 個人 消息 (オンラインでは割愛)

\* 感謝日の果物

「きょう講壇に飾られたくだものを持って、どなたかを訪問されてはいかがでしょう」と、例年なら呼びかけてられていましたが、今年はコロナ禍で残念ながら…。でも、その際に添える「感謝日のしおり」の思い、あの聖句はますます力強く迫ります。

「神は恵みをくださり、天からの雨を降らせて実りの季節を与え、食物を施して、あなたがたの心を喜びで満たしてください。」

(使徒言行録 14 の 17)

礼拝で深く味わった感謝日の思いを胸に、教会の暦の「年末」、アドベントに向かう日々を過(こ)しましよ

う。また、感謝日を憶えて、謝恩日献金(15万円)を教団年金局にささげました。

\* 「言葉の贈り物」の季節です。

「互いに離れていても深い交わりを実感できる『喜びの教会』であることを願って、六角橋教会はかねてより、とくに秋から冬にかけて「問安(平安)シヤROOMを届け合うこと」を大切にしてきました。

教会としては感謝日に合わせて「問安の週(2)」が呼ばけられてきましたが、コロナ禍の今こそ、「言葉を贈り合う」教会としてますます力強く歩みたいと願います。現在、次の2つのことへのご協力をお願いいたします！

その① 問安の週(2) (11月21日～27日)

「あの方、どうしているかしら」と思う方に「いかがですか?」のひと言を送ってみませんかという趣旨で年に2回呼びかけられています。これを「相互教会を深める大切な活動」だと考え、牧会委員会として呼びかけています。今回も「問安の週 特製葉書」(画・

萩原邦子姉)を作製。ぜひお使いくださいということ  
で、この週報と一緒にお一人一枚ずつお届けします。  
一枚だけでなく、「もう少し贈りたい」という方は、枚  
数を委員が事務スタッフまでお伝えいただければ、可  
能な限り対応いたします。

その② シヤローム「クリスマス問安カード」寄せ書き

みなさんの名前をぜひお書きください。

「みんなの交わり」シヤローム」では、教職が「こ  
ういう方にぜひ」という方に、教会からの「クリスマ  
スの想い」を届けるお手伝いとして、その「クリス  
マス問安カード」を、みんなの署名で美しく飾りま  
す。お送りした方々からは、大変喜ばれています。礼  
拝後1F玄関に、心を込めてお名前を書いてください。  
ご協力をよろしく願います。12月5日(日)まで。

◆ 教会の年末大掃除

例年、第1アドベントの前日には、「年末大掃除」  
をしていましたが、今年は感染対策のために、規模を  
縮小して「プチ大掃除」を、11月27日(土)14〜15

時におこないます。有志の方のご協力をお願いいたし  
ます。教職・事務スタッフまでお申し出ください。

\* クリスマス委員会から

11月23日(火・祝)10時から、クリスマスの飾  
り付けを行います。奉仕者の方はよろしくおねが  
いします。

12月18日(土)17時、キャロリングは今年も配  
信で行います。ご参加いただける方は入り口掲示  
板ポスターにご記入ください。

◆ 横浜キリスト教書店の委託販売

①クリスマスにちなんだ本やグッズ、②キリスト教  
を初歩から学ぶために——という趣旨で取り揃えま  
した。購入したい物があれば、所定の用紙でお申し込  
みください。注文の品は後日、書店が教会まで届けて  
くれます。期間は12月12日(日)までです。

◆ 寿地区センター「冬の炊き出し&バザー」と

## 教区海員宣教活動のために献品を！

新型コロナウイルスの感染者は減ってきているものの、まだまだ油断はできません。そのような状況の中、厳しい冬を迎えようとしている方々に、今、必要なものを届けたいと願い、多くの方のご協力を頂けると幸いです。また、献金の協力も頂きたく、合わせてお願いいたします。募金箱は、今年も事務室ドアを入って左側、印刷機の上にあります。

### ① 寿地区センターの「冬の炊き出し・バザー」

- ・炊き出し用食料品(米、調味料各種)
- ・バザー用(男性用靴下、不織布マスク)
- ・期間 10月31日(日) ～ 12月8日(水) 午前中
- ・仕分け・梱包 8日午後1時～

花壇の係り 「ひつじぐさ」他有志

- ### ② 加山牧師が関わる教区海員宣教協力委員会が呼びかけている海員(船員)のためのクリスマスプレゼントも募っています。このコロナ禍で、いつも以上に寂しい思いを募らせている船員が多いので、とても喜ばれるそうです。♪ 詳細は掲示板をご覧ください♪

◆ 隠退教師を支える百田献金

分献礼拝の間は、毎週お受けしています。

受付の献金箱に自由におさげください。

◆ 今日のお花のご奉仕は、平野知亜子姉です。

§ 前週の報告

聖日礼拝      男      女      計      (求)      (献金)

                 8      33      41      (〇) 三六、八五〇円

§ ささげもの(オンラインでは割愛)

※ 発送した茶封筒に、ときどき領収書の取り忘れがあるようですので、どうぞ確認を♪

新約聖書 (マルコによる福音書 8章 1〜10節)

1 そのころ、また群衆が大勢いて、何も食べる物がなかつたので、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。

2 「群衆がかわいそうだ。もう二日もわたしと一緒にいるのに、食べ物が無い。

3 空腹のまま家に帰らせると、途中で疲れきってしまうだろう。中には遠くから来ている者もいる。」

4 弟子たちは答えた。「こんな人里離れた所で、いったいどこからパンを手に入れて、これだけの人に十分食べさせることができるでしょうか。」

5 イエスが「パンは幾つあるか」とお尋ねになると、弟子たちは、「七つあります」と言った。

6 そこで、イエスは地面に座るように群衆に命じ、七つのパンを取り、感謝の祈りを唱えてこれを裂き、人々に配るようにと弟子たちにお渡しになった。弟子たちは群衆に配った。

7 また、小さい魚が少しあったので、賛美の祈りを唱えて、それも配るようにと言われた。

8 人々は食べて満腹したが、残ったパンの屑を集めると、七籠になった。

9 およそ四千人の人がいた。イエスは彼らを解散させられた。

10 それからすぐに、弟子たちと共に舟に乗って、ダルマヌタの地方に行かれた。